

日本財団補助金による

1999 年度日中医学協力事業報告書

- 学会開催に対する助成 -

平成 11 年 11 月 18 日

財団法人 日中医学協会
理事長 中島章 殿

報告者氏名 磯貝典孝 ④
所属・役職 近畿大学医学部形成外科・助教
所在地 509-8511 大阪府山形市野東377-2
FAX 電話 0223-67-7517 内線 _____
TEL 0223-66-0221 3227

講演集・シンポジウム写真等学会に関する資料を添付

学会・学術交流の名称 第10回 日中形成外科学会
テーマ 組織工学おと環 形成外科の最新線
主催団体 近畿大学医学部形成外科
代表者 上石 弘 (カミシロ ヒロシ)
期間・開催地 H11. 10. 21 ~ H11. 10. 23 大阪 (全日野東377-ボビル)
参加者数 日本側 57名 中国側 44名
招へい・派遣目的 日中形成外科医師間の学術交流

1. 招へい・派遣研究者 人数 63 人 記入欄不足の場合は別紙を添付。(→別紙1,2)

氏名	所属・役職	研究分野

滞在期間 自 11 年 10 月 21 日 至 11 年 10 月 25 日

引紙1

中国側登録、宿泊予約						
姓名	発音	性別	大学 / 病院	滞在予定期間		
				10月21日	22日	23日
宋业光	Song Ye-Guang	男	北京八大处整形外科医院	★	★	★
陈宗基	Chen Zong-Ji	男	北京八大处整形外科医院	★	★	★
戚可名	Qi Ke-Ming	男	北京八大处整形外科医院	★	★	★
惠博生	Hui Bo-Sheng	男	北京医科大学三院成形外科	★	★	★
李东	Li Dong	男	北京医科大学三院成形外科	★	★	★
刘传君	Liu Chun-Jun	男	北京医科大学三院成形外科	★	★	★
王炜	Wang Wei	男	上海第九人民医院整形外科	★	★	★
范志宏	Fan Zhi-Hong	男	上海第九人民医院整形外科	★	★	★
干季良	Gan Ji-Liang	男	上海第九人民医院整形外科	★	★	★
高景恒	Gao Jing-Heng	男	沈阳市辽宁省人民医院整形外科	★	★	★
文小泉	Wen Xiao-Quan	男	沈阳市辽宁省人民医院整形外科	★	★	★
林子豪	Lin Zi-Hao	男	上海第二军医大学长征医院	★	★	★
赵耀忠	Zhao Yao-Zhong	男	上海第二军医大学长征医院	★	★	★
柳大烈	Liu Da-Lie	男	沈阳市沈阳军区总医院整形外科	★	★	★
刘晓燕	Liu Xiao-Yan	女	沈阳市沈阳军区总医院整形外科	★	★	★
孙明杰	Sun Ming-Jie	男	沈阳市沈阳军区总医院整形外科	★	★	★
杨宗城	YANG Zong-Cheng	男	重庆三军大西南医院烧伤研究所	★	★	★
高建华	Gao Jian-Hua	女	广州市一军大南方医院整形外科	★	★	★
颜玲	Yan Ling	女	广州市一军大南方医院整形外科	★	★	★
邓平	Deng Ping	男	中华医学会佛山分会专科门诊部	★	★	★
罗永湘	Lou Yong-Xiang	男	武汉同济医科大学同济医院	★	★	★
裴斌	Pei Bin	男	湖北襄樊市立一医院手外科	★	★	★
张家均	Zhang Jia-Jun	男	武汉同济医科大学同济医院	★	★	★
王成琪	Wang Cheng-Qi	男	山东潍坊89医院创伤骨科中心	★	★	★
王剑利	Wang Jian-Li	男	山东潍坊89医院创伤骨科中心	★	★	★
宁金龙	Ning Jing-Long	男	合肥安徽医科大学一院整形外科	★	★	★
陈存富	Chen Cun-Fu	男	山东省兖州91医院整形烧伤科	★	★	★
梁雨合	Liang Yu-He	男	山东省兖州91医院整形烧伤科	★	★	★
刘春利	Liu Chun-Li	男	广州军区总医院整形外科	★	★	★
苑凯华	Yuan Kai-Hua	女	广州军区总医院整形外科	★	★	★
宋建良	Song Jian-Liang	男	杭州整形医院	★	★	★
徐坚方	Xu Jian-Fang	男	杭州整形医院	★	★	★
姚建民	Yao Jian-Min	男	杭州整形医院	★	★	★
汤海萍	Tang Hai-Ping	女	青岛401医院显微外科中心	★	★	★
丛林	Cong Lin	女	大连市210医院烧伤整形科	★	★	★
贺永奎	He Yong-Kui	男	海南东湖整形美容医院	★	★	★
孙超英	Sun Chao-Ying	女	沈阳第七人民医院医学美容中心	★	★	★
史灵芝	Shi Ling-Zhi	女	沈阳杏林整形美容外科诊所	★	★	★
周波	Zhou Bo	男	大连市第二人民医院整形美容科	★	★	★
田海鹰	Tian Hai-Ying	女	淄博市疗养院美容门诊部	★	★	★
程新德	Cheng Xin-De	男	安徽蚌埠医学院附属医院整形科	★	★	★

別紙 Z

程野	Cheng Ye	男	鞍山钢铁公司铁东医院整形外科	★	★	★
葛俊卿	Ge Jun-Qing	男	大连葛俊卿医疗美容整形科诊所	★	★	★
范启申	Fan Qi-Shen	男	山东潍坊89医院创伤骨科中心	★	★	★
贾铁利	Jia Tie-Li	男	北京空军总医院整形外科	★	★	★
黄勇	Huang Yong	男	烟台硫磺顶医院整形外科	★	★	★
宋修军	Song Xiu-Jun	男	青岛市立医院骨科	★	★	★
任永安	Ren Yong-An	男	西安市中心医院烧伤整形外科	★	★	★
杨志祥	Yang Zhi-Xiang	男	北京307医院烧伤整形科	★	★	★
王玉新	Wang Yu-Xin	女	中国医大第一临床学院颌整外科	★	★	★
张秀梅	Zhang Xiu-Mei	女	哈尔滨第五医院	★	★	★
龙道畴	Long Dao-Chou	男	武汉湖北医科大学一院整形外科	★	★	★
艾民文	Ai Min-Wen	女	北京黄寺美容外科医院	★	★	★
庞建华	Pang Jian-Hua	女	哈尔滨第五医院整形外科	★	★	★
郭永明	Guo Yong-Ming	男	西安兵工五二一医院骨科	★	★	★
李春满	Li Chun-Man	男	锦州医学院附属第一医院整形科	★	★	★
付素静	Fu Su-Jing	女	沈阳医学院中心医院口腔科	★	★	★
马强	Ma Jiang	男	重庆渝中区整形专科诊所	★	★	★
张红	Zhang Hong	女	重庆渝中区整形专科诊所	★	★	★
鲁开化	Lu Kai-Hua	男	四军大学西京医院整形外科中心	★	★	★
艾玉峰	Ai Yu-Feng	男	四军大学西京医院整形外科中心	★	★	★
郭树忠	Guo Shu-Zhong	男	四军大学西京医院整形外科中心	★	★	★
程健	Cheng Jian	男	浙江医科大学附二院	★	★	★
陈洁	Chen Jie	女	海南东湖整形美容医院	★	★	★
王锡波	Wang Xi-Bo	男	哈尔滨市五院	★	★	★
曹孟君	Chao Meng-Jun	男	深圳富华美容门诊部	★	★	★
管宇	Guan Yu	男	中国医大二院口腔科	★	★	★
张建军	Zhang Jian-Jun	男	广州市刀和博士整形中心	★	★	★
古沐明	Gu Mu-Ming	男	广州军区总医院整形外科	★	★	★
张健明	Zhang Jian-Ming	男	广东省顺德市顺德医院整形外科	★	★	★
龙云	Long Yun	男	湖北医科大学附一医院	★	★	★
王晓明	Wang Xiao-Ming	女	辽宁省本溪市本钢美容中心	★	★	★
黄平	Huang Ping	男	湖北省荆门市立第二医院骨科	★	★	★
曾星	Zeng Xing	男	人民军医出版社	★	★	★
曹培皙	Cao Pei-Xi	女	吉林医用材料研究所	★	★	★
青莉	Qing Li	女	广州黄埔区红十字会医院手外科	★	★	★
尹卫民	Yin Wei-Min	男	深圳市红会医院第一门诊部	★	★	★

The 10th Japan-China Joint Meeting on Plastic Surgery 1999

事務局 大阪狭山市大野東3 7 7 - 2 近畿大学医学部形成外科 TEL: 0723-66-0221 FAX: 0723-67-7517

学会名称：第10回日中形成外科学会

学会テーマ：組織工学および形成外科の最前線

日本側代表者：上石 弘（近畿大学医学部教授）

中国側代表者：Lu Kai-hua（第4軍医大学教授、西安市）

学会報告（近畿大学医学部形成外科 助教授 磯貝典孝）

平成11年10月21日より23日までの3日間に114題（特別講演5題、パネル31題、一般講演55題、ポスター22題）からなる学術集会を滞り無く終了することができました。

学会会場は、大阪の南、関西国際空港に隣接するりんくう国際会議場・全日空ゲートタワーホテルといたしました。学会会費は、日本人参加者は、参加費3万円をお支払い頂き、中国人参加者は、6千円といたしました。機械展示は10月22日（9時から17時）および10月23日（9時から12時）の間執り行いました。また、10月22日（金）18：40より総合懇親会を行い、参加者の交流をはかりました。

今回の学術集会では、本格的な同時通訳（サイマル）を取り入れ、広く学会参加者の皆様に討論して頂くことを目指しました。特別講演では、マイクロサージェリーの最先端を波利井教授にご紹介頂き、また、小児形成外科の新しい治療法や考え方をDr. Uptonに分かり易く話して頂き、参加者に感銘を与えていただきました。今回の企画が、今後の本学会の発展と日中両国の友好につながるものと確信いたします。特に、波利井教授のご講演のレベルは、極めて高く、おおくの参加者にとって勉強になりました。また、Dr. Uptonの講義では、比較的治療方法の分かり易い病気の説明始まり、次第に、困難な症例の治療法の紹介がなされ、世界レベルの治療結果には、会場のおおくの形成外科医が深い感銘を受けました。

このたびの第10回日中形成外科学会では、組織委員を日本・中国全国の主要な大学の形成外科教授にお引き受け頂き、幅広く発表を募集致しました。その結果、本年度の日中形成外科学会には、中国側より過去最多の参加申し込みがあり、また、日本側も全国より多数の演題が発表されました。

The 10th Japan-China Joint Meeting on Plastic Surgery 1999

事務局 大阪狭山市大野東377-2 近畿大学医学部形成外科 TEL: 0723-66-0221 FAX: 0723-67-7517

さて、今年度の学会期間中には、日中形成外科学会における言語や経済的不平等などの諸問題につきまして、中国側と話し合いの場を設け、今後の対応などについてご意見を頂きました。（組織委員会、10月22日（金）12:10～13:00、ゲートタワーホテル（53階 翼の間）。

1.言語の問題について

これまでの過去10年間、共通の言語に基づく討論がされていない状況が続いて参りました。本年度は、サイマルと事務局間において、数度にわたる会議を開きました。あらかじめ発表抄録を基に、発表内容を通訳し易くするとともに、学会前日に発表者の1人1人と通訳者の間で、内容の確認および質疑応答についての確認がなされました。このため、本会議では、極めて内容のある通訳がなされ、この結果、意味のある討論が数多くなされました。この同時通訳の試みは、特に中国側に好評であり、日本-中国間の治療の差がよく理解できたようです。本年度に見習い、来年度も同時通訳が導入されることとなりました。

2.経済的援助について

これまで日本において本学会が開催される場合、20名分の往復旅費および40名分の宿泊代と食費が中国側に準備されておりました（経費は、約300～350万円）。しかし、近年、日本経済の衰退とともに、募金活動が困難となってきております。この点を、中国側にご了解頂き、今後は、日本側と中国側の代表者間で話し合いの場を持ち、日本側援助金の金額を決定することが了解されました。

3.査証の取得について

今年度は、当初、63名の中国側参加者を予定しておりました。しかし、査証手続きにおいて問題が生じ、中国側から44名のみが来日しました。これまでの日本側担当大学にお尋ねすると、毎回、同じ問題が生じてきたことがわかりました。準備をする日本側にとって、査証が取得できる人数が最後までわからないことは、学会運営上、極めて不利であり、また、直前の変更による経費もかなり多額となりました。そこで、中国側に対して、今後査証の取得方法を予め検討して頂き、学会運営が円滑にできるよう、早期の査証獲得に努力して欲しい旨要請がなされました。

成果

本学術集会を開催してみて初めて、2国間の考え方の違いや、治療方針の違いが理解できました。トラブルが発生しても、お互いの立場を尊重しあいながら、

The 10th Japan-China Joint Meeting on Plastic Surgery 1999

事務局 大阪狭山市大野東377-2 近畿大学医学部形成外科 TEL: 0723-66-0221 FAX: 0723-67-7517

合理的判断に基づく解決がなされました。学会の討論では、世界レベルでの討論が展開され、極めて有意義な学会となりました。また、参加者間の交流も一層深まり、本学会を通して、日本、中国の形成外科医が多くを学び合うことができた意味深い学会となりました。また、学会開催後、多くの大学より本学会の運営方法と学術交流について高い評価を頂いております。

本学会の準備から開催まで、寄せられました暖かいお言葉と惜しみないご協力により、盛大ですばらしい学会となりました。心よりお礼申し上げます。収支決算書を添えてご報告申し上げます。

The 10th Japan-China Joint Meeting on Plastic Surgery 1999

事務局 大阪狭山市大野東377-2 近畿大学医学部形成外科 TEL: 0723-66-0221 FAX: 0723-67-7517

第10回日中形成外科学会 日程および注意事項

中国から参加する皆様へ

1999年10月21日

日 程：

10月21日(木)

- 14時05分 関西国際空港着 (CA921 便)
- 15時 オリエンテーション (4 F、真珠の間)。その後、ホテル check-in。
- 15時~17時 ポスター発表者は、掲示を済ませる (6 F)
- 18時~ りんくう国際会議場 (6 F) に集合。学会受付にて抄録、名札を受け取る。
- 18時~19時 夕食 (53 F、翼の間)。
- 20時~21時 学会講演会 (6 F)

10月22日(金)

- 07時~08時 朝食 (4 F、鳳の間)
- 08時30分 学会参加 (終日、6 F)。受付にて同時通訳用レシーバーを受け取る。
- 12時10分 Luncheon セミナー (6 F)。組織委員の方は、組織委員会 (53 F、翼の間) に参加する。
- 17時40分 ワインとテナーの夕べ (4 F、鳳の間)
- 18時40分 総合懇親会 (4 F、鳳の間)
- 20時~21時 学会講演会 (6 F)
- 21時~22時 日中代表者会議 (4 F、高砂の間)

10月23日(土)

- 07時~08時 朝食 (4 F、真珠の間)
- 午前中 学会参加
- 12時 学会終了
- 午後より自由行動